

四日市南警察署協議会議事録

令和6年度第2回四日市南警察署協議会	
日 時 場 所	令和6年10月2日（水）午後1時30分～午後3時5分 四日市南警察署5階多目的ホール
出席者	<p>1 三重県公安委員会 1名 吉田すみ江委員</p> <p>2 警察署協議会 12名 稲垣芳則委員、鵜飼佳晃委員、岸本久義委員、 北澤きみよ委員、千田茂樹委員、谷崎隆二委員、 野村昌嗣委員、フランシスカ モニカ委員、堀素子委員 山本照子委員、山本知佳委員、山本浩之委員</p> <p>3 警察署 12名 署長、副署長、事件指導官、警務課長、留置管理課長、 生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、 交通第一課長、交通第二課長、警備課長</p> <p>4 警察本部 警備第二課係長、機動隊広域緊急援助隊</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 三重県公安委員会委員挨拶</p> <p>2 警察署長挨拶</p> <p>3 管内治安情勢等</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 犯罪情勢（生活安全課長）</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 交通事故情勢（交通第一課長）</p> <p>4 仕掛け学タグの使用方法及び効果の説明（生活安全課長）</p> <p>5 速度取締り指針の説明（交通第二課長）</p> <p>6 警察における災害対策についての説明（警備課長）</p> <p>7 能登半島地震に伴う災害派遣体験記（警備第二課係長）</p> <p>8 災害時の装備資機材についての説明（機動隊広域緊急援助隊）</p> <p>9 協議内容</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 学校内で発生した犯罪の対応について</p> <p style="margin-left: 40px;">＜委員＞ 学校内で犯罪が発生した場合、どの段階で警察へ通報する必要があるのか判断基準があれば教えてほしい。</p> <p style="margin-left: 40px;">【生活安全課長】 学校内に限らず、被害者の意向に沿って対応しているため、被害者の意向を確認の上、必要に応じて通報していただきたい。</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 近鉄四日市駅周辺の再開発工事に伴う規制変更について</p> <p style="margin-left: 40px;">＜委員＞ 近鉄四日市駅周辺の再開発工事により、国道1号から西進してきた場合、近鉄四日市駅東交差点を右折できない。</p> <p style="margin-left: 40px;">Uターンできる交差点でUターンして同交差点を左折しなければならないのか。</p>	

- 【交通第一課長】 現時点ではその方法で進行していただく必要がある。
- (3) 信号機のない横断歩道における車両の停止率について
 <委員> 信号機のない横断歩道を通行していたところ、車両が停止せず危険な目にあった。
 三重県の信号機のない横断歩道における停止率について教えてほしい。
- 【交通第一課長】 昨年度の調査では、三重県の信号機のない横断歩道の停止率は57.9%であり、停止率は向上したものの、いまだ半数近くの車両が停止していない。
 当県では、歩行者が横断時に手を上げる「横断歩道“ハンドサイン”キャンペーン」を推奨しており、今後も広報啓発を実施していく。
- (4) 反射材の効果について
 <委員> 反射材効果を体感する反射パネルの実演を拝見し、反射材の重要性が実感できた。購入先について教えてほしい。
- 【交通第一課長】 専門店だけでなく一般店舗でも販売されている。
- (5) 合図不履行の対応について
 <委員> 四日市市内で、車両が右左折時に合図を出さなかったり直前で合図を出したりする車両が多いため、危険に感じている。
- 【交通第二課長】 合図不履行という道路交通法違反に該当し、交通事故につながる危険性がある。現認した際は、指導・警告を実施している。
- (6) 能登半島地震発生後の現地の治安情勢について
 <委員> 能登半島地震発生後の治安情勢について教えてほしい。
- 【警備第二課係長】 発災直後に派遣された被災地において、窃盗事件が発生したといった情報があった。
 なお、現地では、治安維持部隊が編成され、犯罪の抑止活動等に取り組んでいる。
- (7) 広域緊急援助隊の服装について
 <委員> 広域緊急援助隊の服装は、視認性が高く、精神安定を高める色彩であるほか、背中には派遣元が記載されており、災害救助にふさわしく感じた。
- (8) 優秀な人材の確保に向けた採用募集活動の推進について
 <委員> マスメディア等を活用した広報の際は、警察官の生の声を発信することで、対象者の心に響くのではないかと考える。
 そのほか、警察官の仕事は過酷なイメージがあり、敷居が高く感じている者がいる。実際の業務との間にギャップが生じているように感じている。
- <委員> 幼少時の経験から警察官を希望する者もいるため、小学校等における、出会い学習等の機会を生かした採用活動を推進してはどうか。
 そのほか、将来的な人口減少を見据え、外国人の採用も検討する必要があると考える。
- <委員> SNSや動画配信等を有効活用するほか、新たな広報媒体を活用していくことが効果的ではないかと考える。
- 【警務官】 人口減少の影響もあり、人材確保が課題となっている。
 優秀な人材の確保に向けて、創意工夫して採用募集活動に取り組んでいく。

10 三重県公安委員講評
 11 警察署長謝辞

備考 能登半島地震における活動状況のパネル及び反射パネルを展示